



きくがわ 社協だより

2011
No. 83
1月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

社協（社会福祉協議会）は、
みなさんと共に「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

新年を迎えるにあたり



菊川市社会福祉協議会

会長 鶴田 浩

市民のみなさま、新年明けましておめでとうございます。みなさまにおかれましては、それぞれの希望を抱いて新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年はみなさまにとってどのような年であったのでしょうか。東日本大震災の発生や各地で起きた豪雨による水害、市場経済における円高や株価の低落など社会情勢や経済情勢は、厳しい年であったように思います。

今年こそ、みなさまにとって明るく幸多い年でありますように心からお祈り申し上げます。

さて、本会では菊川市に暮らすみなさま誰もが安心して、いきいき暮らせるまちづくりを目指して、地域福祉の推進を重点事業と位置付けて職員一同精進しております。

その一環として、昨年も市内11地区において「地区福祉懇談会」を実施いたしました。自治会長さんや各団体役員さんのご協力により、480名の方が出席をされ、みなさまから様々なご意見をいただくことができました。みなさまからのご意見は本会事業に反映させるとともに、行政へもお伝えをさせていただきたいと考えております。ありがとうございます。

また、未曾有の大災害となった東日本大震災の被災地支援を行うため、2回に渡り「災害ボランティアバスパック事業」を実施いたしました。1回目は6月に成人の方を対象に行い24名の方が参加され、2回目は8月に高校生等を対象に行い、33名の方が参加をされました。いつ来てもおかしくないと言われている東海地震、最近では三連動、五連動による発生も危惧されておりますが、この事業への体験が役立つくれるものと思っております。

参加した方の中
『いつか来る東海地震が私たちを襲ったら、一番即戦力になるのは私たち高校生です。からの感想文(抜粋) その時に今回の経験を活かせることができれば幸いです。』

事業実施にあたりご協力いただきましたみなさまにお礼申し上げます。

しかし、このような地域福祉の推進をいくら行政や本会が頑張ってみてもそこには限界があります。それには地域に住むみなさまをはじめ、福祉団体の方や社会福祉施設の方などの協力なくしてはなりません。私たちが住んでいるこの地域で何が問題で、何が求められているのか、どのような活動を行ったら良いのか、また、できるのかなど一緒に考え、実行できるように一層のご協力をお願いいたします。結びに、みなさまの益々の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。御挨拶いたします。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865（プラザけやき内）

Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

☎ 0537-35-3724 FAX 0537-35-3202



この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

笑顔、輝いてます ―第6回―

地域と共に暮らした9年間



Q. 所属団体や活動を教えてください。

A. 菊川市身体障害者福祉会視覚障害者部

自立生活センターきくがわ

(仲島に事務所を持ち、様々な障がいを持った方たちが自立のために活動している団体です。)

福祉教育講師 他

Q. 活動を始めたきっかけは何ですか？

A. 視覚障がい者となり退職して9年になります。退職後、外に出たい、何か活動したいという強い願望があり、国立リハビリテーションセンターで白杖歩行や視覚障がい者の生活に必要な勉強をしました。その後、アイメイト(盲導犬)の訓練を行い取得しました。それから今の活動につながっています。

Q. 活動されている中で感じていることは何ですか？

A. 視覚障がい者はどうしても外出が困難となります。家族やボランティアさんたちと親交を持ち外へ出る機会を増やそう、感謝の気持ちを持って活動の輪を広げたいと思い、視覚障害者部の活動をしています。また、自立生活センターきくがわには、さまざまな障がいを持った人たちがいます。みんなで楽しめることを目標に、各自ができることをやっています。障がいという個性を大事にし、できることを伸ばしていけたらよいと思います。福祉教育では、こどもたちと障がい者がふれあう時間を大事にしたいと考えています。道で出会った時にあいさつをする、それだけでもとても嬉しく重要なことです。気軽に声をかけ合えるきっかけを、授業の中でつくっていきたくて考えています。それから、アイメイトのサラと一緒に行動するようになって7年が経ちましたが、市内でアイメイトのことを理解してくれる人が多くなりました。市内での入店拒否はありませんし、道に迷っていると声をかけてくれます。

Q. 今後の夢や抱負をお聞かせください。

A. 福祉的な活動は今の範囲で続けていきたくて考えています。個人的には、自分を磨く勉強をしていきたくて思います。2年半前から点字の触読を学び、半年前から英会話を学んでいます。8年前からやっている週1回のトレーニングジム通いもこれからも続けていきたくてです。他にも自分ができそうなことを探して、健康づくりと自己啓発に努めたいと思っています。

「サラと一緒に道を歩いていると必ず誰かが声をかけてくれる。」「今、地域の中で生きているなと感じているよ。」としみじみ話してくれた松村さんが印象的でした。

これからもどんどん外に出かけて、たくさんの方たちとふれあってください。



かすとし
松村和利さん(61) 柳町

どこへお出かけしましょうか？

いきいきサロンけやきのみなさんが、すてきなバッグを制作しました。近づいて見てみると、なんと新聞紙でできていました。新聞紙のカラーページを上手に利用して、色とりどりのバッグがたくさん完成しました。

さあ、このバッグを持って、どこへお出かけしましょうか？



ボランティアの輪「菊川市国際交流協会」

菊川市には約20カ国以上の国々から来た人たちが住んでいます。国によって話す言葉、文化や習慣は様々です。外国の人と日本の人がお互いの個性を尊重して仲良くするために、国際交流協会が作られました。当協会の運営や活動は、菊川市に住んでいる人や菊川市で働いている人(会員と呼びます)によって行われています。

《活動内容》

- 日本語教室の開講
- 文化の講座や夏まつりへの出店などのイベント事業
- 中学生海外派遣事業

これ以外にも様々な活動を行っています。

詳しくは「菊川市国際交流協会のホームページ」をご覧ください。→ <http://kikukyokai.exblog.jp>



問 合 せ 菊川市地域支援課多文化共生係 ☎ 35-0925
ボランティアセンター ☎ 35-6385

ボランティアを始める方へのメッセージ&アドバイス

ボランティアセンター登録のグループから「ボランティアを始める方へのメッセージ&アドバイス」をいただきましたので、紹介したいと思います。

はじめの 一歩編

- 活動に興味・関心のある方は、一度活動をのぞきにきてみてください。
 - 気軽に体験入会してください。
 - 無理なく続けられること。自分に適した活動・仲間を。
 - 無理をしないで、自分の活動できる範囲で。活動を楽しみながら長く続けられるように。
 - 遊び感覚の気持ちで、活動に臨んでみることも大切。それが長続きすることにつながります。
- (次回は「活動する時編」)

書き損じはがきを集めています

障がい者の地域での生活支援、相談活動を行っている「自立生活センターきくがわ」では、活動費捻出のために書き損じハガキを集めています。市内の各地区センター、プラザけやき(社会福祉協議会窓口)に収集箱を設置しています。年賀状等の書き損じハガキがありましたら、ぜひご協力ください。



求むボランティアさん

問 合 せ ボランティアセンター ☎ 35-6385



①お花の水掛け・草取りなど

障がいをお持ちの方と作った花壇の水掛けや草取りを行う活動です。

活動内容 花壇への水掛け・草取り

活動日時 都合の良い時に
(あらかじめ予定はお聞きます)

活動場所 菊川インター付近

募集対象 一般、学生、小学生親子

※不定期ですが、障がい者の方と交流しながら水掛けを行う場合もあります。

②学習支援ボランティア

諸事情により支援を必要とする子どもの学習をサポートする活動です。

活動内容 学習指導・支援

活動日時 不定期

活動場所 公共施設など

募集対象 一般・大学生

(勉強が好き・得意、教えること・伝えることが得意など)

③イベント助っ人ボランティア

社会福祉施設やボランティアグループの行うイベントの際のボランティアです。

活動内容 イベント開催時の補助

活動日時 不定期

活動場所 不定

募集対象 一般、学生

参加者募集 菊川市民社会福祉大学 ～“無縁社会”の問題を通して菊川の地域福祉を考える～

日 時 2月26日(日) 13:00～16:00

会 場 菊川市中央公民館 多目的ホール

- 内 容**
- 基調報告「一人暮らし高齢者の生活実態・意識調査」から
講師: 落合克能 氏(聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授)
 - 基調講演「無縁社会にどう向き合うか～日本社会の今とこれから～」
講師: 板垣淑子 氏(NHK首都圏放送センター ディレクター)
 - シンポジウム「無縁社会化を防ぐために我々菊川市民はどうあるべきか」
コーディネーター: 平田 厚 氏(静岡地域福祉実践研究所 代表、菊川市地域福祉アドバイザー)
シンポジスト: 石井水穂 氏(菊川市連合自治会 会長)
西澤 桂 氏(菊川市民生委員児童委員協議会 会長)
松本利恵 氏(菊川市民)

参加対象 地域福祉に関心のある方(定員100名)

申込方法 参加申込書に必要事項をご記入の上、
2月20日(月)までに申込書持参もしくは、FAXにてお申し込みください。
ただし、定員になり次第締め切ります。

問合せ・申込先 菊川市社会福祉協議会 地域福祉係(海野、堀川、野崎)
☎ 35-3724 FAX35-3202



「パパとあそんだよ」 きくがわ子育て支援センターたんぽぽ

11月19日(土)『パパと大ちゃんせんせいとあそぼう わくわくパーク』が堀之内体育館で行われました。(22組家族、総勢73人が参加。)室内で親子で楽しめる「ふれあいあそび」や、乳幼児期にならしておきたい「でんぐり返り」や「身体のぼり」、つかむ力や反射運動などを体験しました。会場の広さをいかして親子で走り回ったり、ボール蹴りや追いかけてっこもして、気持ちのよい汗を流しました。



菊川市社会福祉協議会 ホームページアンケートに ご協力ください

菊川市社会福祉協議会では、現在ホームページを通じて地域福祉の情報や事業の案内などを発信しています。本会ホームページの運営について、みなさんのご意見をいただき、より効果的な運営を図るためアンケートを実施します。

アンケート方法 菊川市社会福祉協議会ホームページ
をご確認ください。
<http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

アンケート期間 1月19日(木)～2月20日(月)

問 合 せ 総務経理係(田島) ☎ 35-3724

★アンケートにご協力いただいた
みなさまのなかから、抽選で6人に
500円の図書カードをプレゼント
します。



相 談 窓 口

■ 福祉総合相談

日 時 月～金曜日 8:15～17:00
会 場 プラザけやき

■ 心配ごと相談

日 時 2月 1日(水) 9:00～12:00
2月15日(水) 13:00～16:00
会 場 プラザけやき

日 時 2月 6日(月) 13:00～16:00
2月20日(月) 9:00～12:00
会 場 菊川市役所 小笠支所

■ 結婚相談

日 時 2月 2日(木) 18:00～21:00
(受付20:00まで)
2月19日(日) 9:00～12:00
(受付11:00まで)

会 場 プラザけやき
※初めてのの方は写真と印鑑をご持参ください